

## メモリーカードを使用する

本機は、市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード))を使用することにより、記録用のメモリーを拡張することができます。また、内蔵のフラッシュメモリーからメモリーカードに、またはメモリーカードから内蔵フラッシュメモリーにファイルをコピーすることもできます。



- ファイルが記録されるメモリーは、次のように自動的に切り替わります。

メモリーカードを入れていないときは → 内蔵メモリーに記録されます。

メモリーカードを入れているときは → メモリーカードに記録されます。

- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

- 重要!**
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
  - カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。
  - メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
  - カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
  - SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。

89

## メモリーカードを使用する

### メモリーカードの使いかた

#### メモリーカードを入れる

1. 本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。



表面 裏面

2. メモリーカードの表面を上(液晶モニター)側)にして、【メモリーカード挿入口】にしっかり押し込みます。

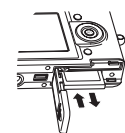
90

3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。



#### メモリーカードを取り出す

1. メモリーカードを押すと、メモリーカードが少し出てきます。
2. メモリーカードを引き抜きます。



- 重要!**
- 故障の原因となりますので、【メモリーカード挿入口】にはメモリーカード以外のものを入れてください。
  - 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
  - 【動作確認用ランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する場合があります。

## メモリーカードを使用する

### メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

- 重要!**
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。

- メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(75ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。
2. 電源を入れ、RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
3. 「設定」タブ→「フォーマット」と選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で「フォーマット」を選び、【SET】を押します。
  - フォーマットを実行しないときは、「キャンセル」を選んでください。

### メモリーカードのご注意

- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード)を使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。
- また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ(<http://www.casio.co.jp>)をご覧ください。
- 静電気、電氣的ノイズ等により記録したデータが消滅または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。
- 万メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードを持たれることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめいたします。
- フォーマットの操作を行うときは、充電式電池をフル充電状態にしてから行ってください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

91

## メモリーカードを使用する

### ファイルをコピーする

内蔵フラッシュメモリーとメモリーカードの間で、ファイルをコピーすることができます。

- 重要!**
- コピーできるのはカメラで撮影した静止画、動画ファイルだけです。その他のファイルはコピーできませんので、ご注意ください。

### 内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする

ファイルのコピーは、一括で行われます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。
2. 電源を入れ、PLAYモードにして【MENU】を押します。
3. 「再生機能」タブ→「コピー」と選び、【▶】を押します。



4. 【▲】【▼】で「内蔵→カード」を選び、【SET】を押します。
  - コピーが始まり、「処理中です しばらくお待ちください」と表示されます。
  - コピーが終わると、コピーしたフォルダの一番最後にあるファイルを表示します。

92

### メモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーする

ファイルのコピーは画像を確認しながら、1枚ずつ行います。

1. 「内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする」の手順1~3と同じ操作を行います。
2. 【▲】【▼】で「カード→内蔵」を選び、【SET】を押します。
3. 【◀】【▶】でコピーしたいファイルを選びます。
4. 【▲】【▼】で「コピー」を選び、【SET】を押します。
  - コピーが始まり、「処理中です しばらくお待ちください」と表示されます。
  - コピーが終わると、コピー前に表示していたファイルに戻ります。
  - 手順3~4をくり返して、他の画像をコピーすることができます。
5. 【MENU】を押して、コピーの操作を終了します。

- 参考**
- ファイルは内蔵メモリー内の一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

## パソコンでファイルを見る

このカメラは、USBクレードルを介してUSB端子を備えたパソコンと接続して、パソコンでファイルを見たり、保存することができます。USB接続を行うには、使用するパソコンによっては付属のCD-ROMからUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。

### お持ちのパソコンがWindowsの場合

パソコンにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

1. Windows98/Me/2000を使っている場合はUSBドライバをパソコンにインストールする。
  - 初めて使用するときだけ必要です。
  - Windows XPの場合はインストールの必要はありません。



2. カメラとパソコンをUSBクレードルで接続する。



3. 画像ファイルを見る/コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

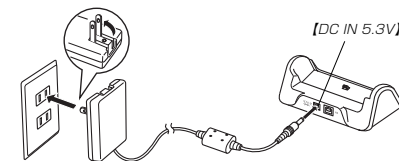
- 重要!**
- USBドライバをインストールする前に、カメラをパソコンに接続しないでください。
  - 内蔵フラッシュメモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

93

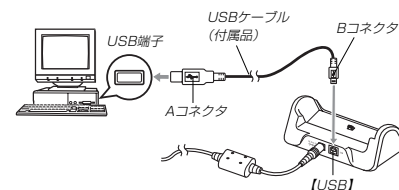
## パソコンでファイルを見る

1. Windows98/Me/2000をお使いの場合は、操作2へ進んでください。WindowsXPをご使用の場合は、USBドライバをインストールする必要はありませんので、操作6に進んでください。
  - この操作手順はWindows98をもとに制作されています。
2. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
3. MENU上の「日本語」をクリックします。
4. 「USB driver」の「インストール」をクリックします。
  - インストールが開始されます。
5. セットアップ完了の画面が出たら「はい、直ちにコンピュータを再起動します」をチェックして「完了」をクリックし、パソコンを再起動させます。

6. 付属の ACアダプターをUSBクレードルの[DC IN 5.3V]と家庭用コンセントに接続します。



7. 付属のUSBケーブルでUSBクレードルとパソコンのUSB端子を接続します。



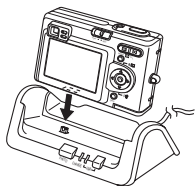
94

## パソコンでファイルを見る

- USBケーブルをパソコンとUSBクレードルに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

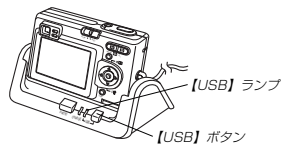
8. カメラの電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットします。

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。



9. USBクレードルの[USB]ボタンを押します。

- 「新しいハードウェア…」とダイアログが表示され、自動的にカメラ内のメモリーカードまたは、内蔵のメモリーが認識されます。次回からはパソコンとカメラをUSBクレードルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードまたは、内蔵のメモリーを認識します。
- 【USB】ボタンを押すとUSBモードになり、クレードルの【USBランプ】が緑色に点灯します(121ページ)。
- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブル ディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。



10. 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。



95

## パソコンでファイルを見る

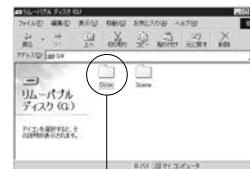
11. 「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

- メモリーカードまたは、内蔵のメモリーは「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

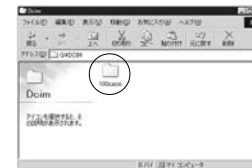
12. 「Dcim」フォルダをダブルクリックします。



Dcim

96

13. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックします。



14. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。



- ファイル名については「メモリー内のディレクトリ構造」(103ページ)を参照ください。

### 15. ファイルを保存する場合は「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを「マイドキュメント」にドラッグアンドドロップします。

- 「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

**重要!** カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

### 16. USB接続を終えます。

- Windows Me/98の場合：  
USBクレードルの【USB】ボタンを押し、【USB】ランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。
- Windows 2000/XPの場合：  
パソコン画面のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBクレードルの【USB】ボタンを押し、【USB】ランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

97

### お持ちのパソコンがMacintoshの場合

Macintoshにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

**重要!** Mac OS 8.5.1以下、Mac OS Xの10.0ではご利用できません。

1. USBドライバをMacintoshにインストールする。  
 • 初めて使用するときだけ必要です。Mac OS 9、Mac OS Xについてはインストールの必要はありません。

2. カメラとMacintoshをUSBクレードルで接続する。

3. 画像ファイルを見る/コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

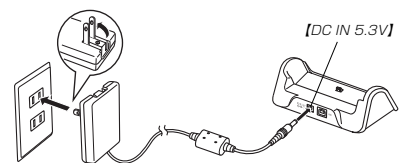
**重要!** USBドライバをインストールする前に、カメラをパソコンに接続しないでください。  
 • 内蔵フラッシュメモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

98

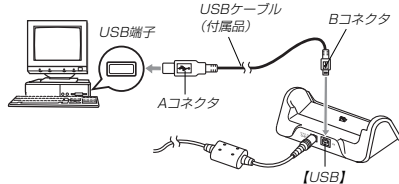
### 7. 開いた「USB Driver」ウインドウの中の「CASIO-USB StorageDriver」ファイルと「CASIO-USB StorageClassShim」ファイルを、先ほど開いた「機能拡張」フォルダのウインドウの中にドラッグアンドドロップします。

8. インストールは終了しました。「機能拡張」フォルダ内に「CASIO-USB StorageDriver」ファイルと「CASIO-USB StorageClassShim」ファイルが入ったことを確認したらMacintoshを再起動させます。

### 9. 付属の ACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続します。



### 10. 付属のUSBケーブルでUSBクレードルとパソコンのUSB端子を接続します。

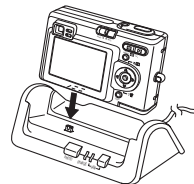


- USBケーブルをパソコンとUSBクレードルに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

99

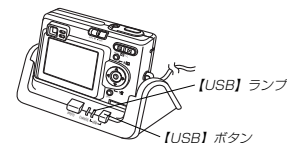
### 11. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルの上にセットします。

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。



### 12. USBクレードルの【USB】ボタンを押します。

- 【USB】ボタンを押すとUSBモードになり、クレードルの【USBランプ】が緑色に点灯します(121ページ)。



100

1. Mac OS 8.6をお使いの場合は、操作2へ進んでください。  
 Mac OS 9、Mac OS Xをご使用の場合は、USBドライバをインストールする必要はありませんので、操作9に進んでください。

2. 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットします。

3. 起動ディスクに指定されているハードディスクをダブルクリックして開きます。

4. 開いた「ハードディスク」ウインドウの中の「システムフォルダ」をダブルクリックして開きます。

5. 開いた「システムフォルダ」ウインドウの中の「機能拡張」フォルダをダブルクリックして開きます。

6. CD-ROM内の「CASIO」→「Japanese」→「USB Driver」の順にフォルダをダブルクリックして開きます。

### 13. カメラ内のメモリーカードまたは内蔵のメモリーがドライブとして認識されます。



- Mac OS のバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。
- 次回からはMacintoshとカメラをUSBクレードルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードや内蔵のメモリーをドライブとして認識します。

14. 表示されたドライバー「DCIM」フォルダへ見たい画像の入ったフォルダの順でダブルクリックします。

15. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。  
 • ファイル名については「メモリー内のディレクトリ構造」(103ページ)を参照してください。

16. ファイルを保存する場合は「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップします。  
 • 「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

**重要!** カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

17. USB接続を終えるには、画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップします。その後、USBクレードルの[USB]ボタンを押し、[USB]ランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

### USB接続時のご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。
- 必ずUSBクレードルにACアダプターを接続して、カメラの電源を供給してください。
- カメラの【モードスイッチ】がどの位置にあっても、USBでの通信ができます。
- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

### パソコンでいろいろなことができます

撮影画像をパソコンでさまざまに活用することができます。活用方法については、下記のページを参考にしてください。

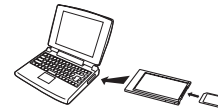
- アルバム形式で見たい  
.....「アルバム機能」(105ページ)
- アルバム形式で印刷したい  
.....「アルバム機能」(105ページ)
- 画像を自動取り込み／管理したい  
.....「ソフトをインストールする」(111ページ)を参照して、PhotoLoaderをインストールしてください。
- 画像をタッチ(加工)したい  
.....「ソフトをインストールする」(111ページ)を参照して、Photohandsをインストールしてください。

101

### メモリーカードを直接接続して取り込む

パソコンとのファイルのやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

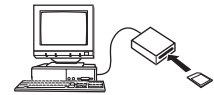
- SDメモリーカードスロットのある機種  
SDメモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種  
市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)を使用します。  
具体的な使用方法是PCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)とパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。



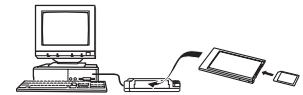
102

- 前記以外の機種

- 市販のSDメモリーカード用リーダー/ライターを使用します。具体的な使用方法是SDメモリーカード用リーダー/ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 市販のPCカード用リーダー/ライターと市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)を使用します。具体的な使用方法是PCカード用リーダー/ライターとPCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)に付属の取扱説明書を参照ください。



### メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF(Design rule for Camera File system)規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

### DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンターなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のディレクトリ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

### メモリー内のディレクトリ構造

#### ■ディレクトリ構造

<▼DCIM▼>	(DCIMフォルダ)
├─ 100CASIO	(記録フォルダ)
│   ├─ CIMG0001.JPG	(画像ファイル)
│   ├─ CIMG0002.AVI	(ムービーファイル)
│   ├─ ⋮	
├─ 101CASIO	(記録フォルダ)
│   ├─ 102CASIO	(記録フォルダ)
│   ├─ ⋮	
├─ ALBUM	(アルバムフォルダ)
│   ├─ INDEX.HTM	(アルバムのHTMLファイル)
├─ ⋮	
<▼FAVORITE▼> *	(お気に入りフォルダ)
├─ CIMG0001.JPG	(記録ファイル)
├─ CIMG0002.JPG	(記録ファイル)
├─ ⋮	
<▼MISC▼>	(DPOFファイルを取めたフォルダ)
├─ AUTPRINT.MRK	(DPOFファイル)
<▼SCENEV▼> *	(ベストショット用フォルダ)
├─ UEXZ3001.JPE	(カスタム登録されたシーンファイル)
├─ UEXZ3002.JPE	(カスタム登録されたシーンファイル)
├─ ⋮	

\* 内蔵メモリー内のみ作成されるフォルダです。

103

### フォルダ/ファイルの内容

- DCIMフォルダ  
デジタルカメラで扱うファイル全てを取めたフォルダです。
- 記録フォルダ  
デジタルカメラで記録したファイルを取めたフォルダです。
- 画像ファイル  
デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。  
拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル  
デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。  
拡張子は「AVI」です。
- アルバムフォルダ  
アルバム機能で使用するファイルを取めたフォルダです。
- アルバムのHTMLファイル  
アルバム機能で使用するファイルです。拡張子は「HTML」です。
- お気に入りフォルダ  
お気に入りの画像ファイルを取めたフォルダです。  
320×240pixelsの画像として取められています。
- DPOFファイルを取めたフォルダ  
DPOFファイルなどを取めたフォルダです。
- ベストショット用フォルダ(内蔵メモリーのみ)  
カスタム登録されたシーンファイルを取めたフォルダです。
- カスタム登録されたシーンファイル(内蔵メモリーのみ)  
ベストショットモードで使用されるファイルです。

### このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- EX-Z3で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

\* DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

### パソコン上で内蔵メモリー/メモリーカードを扱うときの注意点

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は「DCIM」フォルダごと保存してください。その際「DCIM」フォルダの名前を年月日などに覚えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で「DCIM」に戻してからご使用ください。本機では「DCIM」以外の名前のフォルダは認識されません。「DCIM」フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。

104

# パソコンでファイルを活用する

アルバム機能を使用するとパソコンにアルバム形式で画像を表示させることができます。また、付属のCD-ROM内に収録されているソフトウェアをインストールすることで、パソコンでのファイルの自動取り込みや画像のレタッチをすることができます。

## アルバム機能

アルバム機能とは、本機で撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、ホームページ上で一覧表示したり、印刷することができる機能です。



アルバム



一覧表示



情報表示

- 本機で作成したアルバムは、次のWebブラウザで見たリ、印刷することができます。ただし、Windows 2000/98で動画を再生する場合はDirect Xが必要です。

Microsoft Internet Explorer Ver 5.5以上

## アルバムを作成する

1. **PLAYモードにして[▲] (Ⓜ □)**を押します。



レイアウト見本

2. **[▲][▼]**で“作成”を選び、**[SET]**を押します。

- アルバムの作成を開始し、”処理中です しばらくお待ちください”と表示します。
- アルバムの作成が終了すると、アルバム作成メニューに入る前の画面に戻ります。
- アルバムを作成すると、内蔵メモリーまたはメモリーカード内の“ALBUM”フォルダの中に“INDEX.HTM”ファイル、その他アルバム用のファイルが作成されます。

## パソコンで画像を活用する

**重要!** • アルバム作成中に次の操作を行うと、アルバム用のファイルが作成されないばかりでなく、画像データ等のメモリー内のデータが破壊される恐れがあります。アルバム作成中は、下記の操作は絶対に行わないでください。

- 【電池カバー】を開ける
  - メモリーカードを抜く
  - その他異常操作
- アルバム作成中にメモリー一杯になったときは、“メモリーがいっぱいです”と表示した後、アルバムの作成を中止します。
  - 電池が切れかかっているときは、アルバムが正常に作成されない場合があります。
  - アルバムの詳細設定で“自動作成”をする/しないのどちらに設定していても、**[SET]**を押すと、アルバムの作成を自動的に開始します(108ページ)。

## アルバムのレイアウトを選ぶ

10種類のレイアウトの中から、表示したときのレイアウトを選ぶことができます。

1. **PLAYモードにして[▲] (Ⓜ □)**を押します。
2. **[▲][▼]**で“レイアウト”を選びます。
3. **[◀][▶]**で、表示したいレイアウトを選びます。
  - **[◀][▶]**を押すと、画面右横のレイアウト見本が切り替わります。

**重要!** • レイアウト見本上に表示されるのはアルバムのレイアウトおよび背景色です。一覧/情報表示付きかどうかや用途の内容(閲覧/WEB/プリント)は表示されません。

## パソコンで画像を活用する

### アルバムの詳細を設定する

1. **PLAYモードにして[▲] (Ⓜ □)**を押します。
2. **[▲][▼]**で“設定”を選び、**[▶]**を押します。
3. **[▲][▼]**で設定項目を選び、**[▶]**を押します。
  - 各設定項目の設定内容につきましては、以降をご覧ください。
4. **[▲][▼]**で設定内容を選び、**[SET]**を押します。



### ■ 背景色を選ぶ

アルバムの背景色を白/黒/グレーの中から選ぶことができます。

- 背景色を選ぶと、一つ前の画面で表示されていたレイアウト見本上に選んだ色が表示されます。

### ■ タイプを選ぶ

アルバムのタイプを、標準タイプと一覧/情報付きタイプに切り替えることができます。

- 標準タイプ : 選んだレイアウトに従って画像を表示するタイプです。
- 一覧/情報付きタイプ : アルバム表示の他、画像の簡単な一覧表示や撮影時の情報を同時に表示できるタイプです。

## パソコンで画像を活用する

### ■ 用途を選ぶ

**閲覧 :** まず、簡易画像でアルバム表示されますので、簡単に画像を確認したりホームページ上で素早く閲覧したい場合に便利です。また、画像をクリックすると、大きな画像が表示されますので細部を確認したり、画像を1枚ずつきれいに印刷したい場合にお使いください。AVIファイルをクリックすると動画を再生します。CD-Rなどにコピーして配布するときなどに最適です。

**WEB :** 簡易画像でアルバム表示され、簡単に画像を確認したり、ホームページ上で素早く閲覧したい場合に便利です。“DCIM”フォルダ内にあるデータ量の少ない“ALBUM”のみで動作しますので、特にインターネットで利用するとき素早くアップロードできます。ただし、画像の拡大や動画の再生はできません。

**プリント :** 詳細画像でアルバム表示するため、アルバムをきれいに印刷したい場合にお使いください。ただし、表示するのに時間がかかる場合があります。また、画像の拡大や動画の再生はできません。

### ■ 自動作成をする/しないを設定する

アルバム用のファイルを、電源を切ったときに自動的に作成するかどうかを設定することができます。

**入 :** 電源を切ったとき、内蔵メモリーまたはメモリーカード内にアルバム用のファイルを自動的に作成します。

**切 :** 電源を切ったとき、アルバム用のファイルを自動的に作成しません。

**重要!** • 自動作成を“入”に設定している場合、電源を切ると【液晶モニター】は消灯しますが、緑の【動作確認用ランプ】は数秒間点滅しています。この間はアルバム用のファイルを作成していますので、下記の操作は絶対に行わないでください。

- 【電池カバー】を開ける
- メモリーカードを抜く
- その他異常操作

**参考** • 自動作成を“入”に設定すると、電源を切るときにアルバム用のファイルを作成するため、メモリー内の画像枚数に応じて、電源が切れるまでの時間が長くなります。もし、アルバム機能を使用しない場合は、自動作成を“切”に設定することをおすすめします。“切”に設定すると電源が切れるまでの時間が短くなります。



## アルバムファイルを見るには

アルバムファイルはパソコンで使用しているWebブラウザで見たり、印刷することができます。

1. 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のデータをパソコンに読み込むか、メモリーカードをパソコンに接続します(93、102ページ)。
2. 内蔵メモリーまたはメモリーカード内の“DCIM”フォルダの中の“ALBUM”フォルダを開きます。

3. “INDEX.HTM”ファイルをWebブラウザで開きます。

- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のフォルダの画像が一覧表示されます。

一覧／情報付きタイプの場合



4. 一覧／情報付きタイプでアルバムを作成した場合は、インターネットのホームページを見る要領で下記の部分をクリックして操作します。

アルバム：カメラで作成したアルバムが表示されます。  
 一覧表示：フォルダ内の画像の一覧が表示されます。  
 情報表示：各画像の情報が表示されます。

- 用途を“閲覧”に設定しているとき、パソコン上に表示されている画像をダブルクリックすると、撮影したサイズそのままの大きさの画像が表示されます。



109



一覧表示



情報表示

- 表示される画像情報の内容  
 ファイルサイズ  
 画像サイズ  
 撮影画質  
 撮影モード  
 露出モード  
 測光方式  
 シャッタースピード  
 絞り  
 露出補正  
 測距方式  
 フラッシュモード  
 シャープネス  
 彩度  
 コントラスト  
 ホワイトバランス  
 感度  
 フィルター  
 色強調  
 フラッシュ光量  
 デジタルズーム  
 訪問先  
 撮影日時  
 モデル名

110

- 参考
- アルバム部分を印刷する場合は、Webブラウザの設定を下記のようにしておくことをおすすめいたします。
    - －アルバムが表示されているフレームを選択する。
    - －なるべく余白を少なくする。
    - －背景の色を印刷可能な設定にする。
  - 印刷や設定のしかたについては、Webブラウザの取扱説明書をお読みください。

5. アルバムを終了するには、Webブラウザを終了してください。

## アルバムを保存するには

- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内の“DCIM”フォルダごとパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存してください。“ALBUM”フォルダだけでは、必要なファイルが保存されませんのでご注意ください。保存後は“DCIM”内のファイルを更新したり消去しないでください。新たに画像を加えたり、消去したりすると、アルバムが正常に表示されなくなることがあります。
- メモリーカードを再びデジタルカメラで使用するときには、以前のファイルをすべて消去するか、フォーマットしてから使うことをおすすめします。ただし、フォーマットすると、メモリー内のデータはすべて消えます。
- “用途”の設定を“WEB”にした場合は“ALBUM”フォルダのみでもアルバムを見ることができます。データ量が少ないので、素早くインターネットにアップロードすることができます。

## ソフトをインストールする

## 付属のCD-ROMについて

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。各ソフトの内容を確認し、必要に応じてソフトをパソコンにインストールしてください。

USBドライバ(マストレージ)  
(Windows用/Macintosh用)

デジタルカメラとパソコンをUSB接続するためのソフトです。

※ Windows XP、Mac OS 9/OS XではCD-ROM内のUSBドライバをインストールしないでください。USBケーブルでパソコンと接続するだけで、USB通信ができます。

## Photo Loader (Windows用/Macintosh用)

JPEG/AVI形式で保存された画像／動画データを、デジタルカメラからパソコンに自動で取り込み、HTML形式のファイルで画像整理を行えるソフトです。

## Photohands (Windows用)

画像データをレタッチしたり、印刷するためのソフトです。

111

## Internet Explorer (Macintosh用)

HTMLファイルを読むためのブラウザソフトです。Photo Loaderで取り込んだ画像は、「ライブラリ」と呼ばれるフォルダに収められ管理されます。このソフトは、ライブラリ内の画像をパソコンのディスプレイ上で一覧表示するために使用します。

## Direct X (Windows用)

デジタルカメラで撮影した動画ファイルを、Windows 98/2000で扱うためのコーデックが含まれる機能拡張ツールです。Windows XP/Meにはインストール不要です。

## Acrobat Reader (Windows用/Macintosh用)

電子文書化されたPDFファイルを読むためのソフトです。CD-ROM内に収録されているPhoto Loader、Photohandsの取扱説明書を読むために使用します。

## 参考

- Photo Loader、Photohandsの操作方法に関する説明は、電子文書(PDFファイル)化された付属のCD-ROM内に収録されています。その取扱説明書をパソコンのディスプレイ上で表示する方法も本書に記載されていますので、「取扱説明書(PDFファイルを読む)」(114、116ページ)をよくお読みください。

## パソコンの動作環境について

使用するソフトによって、必要な動作環境が異なります。以下の手順に従って確認してください。

## Windows

付属のCD-ROM内の「お読みください」ファイルを参照して、使用するソフトの動作環境を確認してください。

## Macintosh

付属のCD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルをブラウザソフトでご覧ください。

**重要!** 付属のCD-ROMは、Mac OS Xには対応していません。

112

## インストールする

付属のCD-ROM内に収録されているソフトウェアを、パソコンにインストールします。

**参考** • 既にパソコンにインストールしているソフトウェアは、バージョンを確認していただき、古い場合は、新たにインストールしてください。

### Windows

#### ■ 準備

1. **パソコンを起動させ、CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入るとMENUが自動的に起動します。**
  - パソコンの設定によっては自動的にMENUが始まらない場合があります。この場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開きMENU.exeをダブルクリックして起動させてください。
2. **「日本語」をクリックします。**
  - 英語のアプリケーションソフトをインストールしたい場合は「English」をクリックしてください。

113

## ■ ソフトのインストール

1. **インストールしたいアプリケーションソフトの「インストール」をクリックします。**

2. **手順にしたがってインストールします。**

**重要!** • Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」をご覧ください。手順をご確認願います。手順通りにインストールしない場合、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

- Windows XP以外では、USBドライバをインストールする前に、パソコンとカメラを接続しないでください。

114

## ■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. **“取扱説明書”のお読みになりたいアプリケーションソフトの名前をクリックします。**

**重要!** • 取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「ソフトのインストール」でAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

## ■ ユーザ登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザ登録をすることができます。ユーザ登録をするには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

※会員制Webサイト「QVNet」「Exilim オフィシャルサイト」(135 ページ)へのユーザ登録となります。ユーザ登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「QVNet をご利用になる前に」に記載されておりますので、ご確認をお願い致します。ユーザ登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としております。付属ソフトウェアについては、ユーザ登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

1. **「オンラインユーザ登録」をクリックします。**
  - Webブラウザソフトが起動し、ユーザ登録が可能になります。画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。
2. **ユーザ登録が終了したら、インターネットの接続を終了してください。**

#### ■ 終了

1. **「終了」をクリックします。**
  - MENUを終了します。

115

### Macintosh

#### ■ 「CD-ROMの使いかた」を読む

インストールする前に、必ず「CD-ROMの使いかた」をお読みください。もし読めない場合は、下記の手順で付属のInternet Explorerをインストールしてください。

1. **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**
2. **CD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。**
3. **手順にしたがってInternet Explorerをインストールします。**

## ■ ソフトのインストール

インストールする前に、インストールするアプリケーションソフトの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**
2. **CD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。**
3. **「ソフトウェアについて」をクリックします。**
4. **インストールするソフトウェア名をクリックし、インストール方法を確認します。**
5. **手順にしたがってインストールします。**

**重要!** • Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」ファイルをご覧ください。手順をご確認願います。手順通りにインストールしない場合、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

- Mac OS 9/OS X以外では、USBドライバをインストールする前に、パソコンとカメラを接続しないでください。

116

## ■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**
2. **CD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。**
3. **「取扱説明書を読む」をクリックします。**
4. **読みたいソフトウェア名をクリックし、取扱説明書を表示させます。**

**重要!** • 取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「ソフトのインストール」でAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

#### ■ ユーザ登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザ登録をすることができます。Exilim サイト(135 ページ)にて登録を行ってください。

※会員制Webサイト「QVNet」「Exilim オフィシャルサイト」(135 ページ)へのユーザ登録となります。ユーザ登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Web サイト上の「QVNet をご利用になる前に」に記載されておりますので、ご確認をお願い致します。ユーザ登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としております。付属ソフトウェアについては、ユーザ登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

## メニュー一覧表

RECモード、PLAYモードの各タブのメニューに表示される項目の一覧表です。

• 下線の引いてある項目は工場出荷時に選択されている項目です。

## RECモード

### ●撮影設定タブメニュー

撮影モード	(静止画) /  (ベストショット) /  (ムービー)
セルフタイマー	10秒 / 2秒 / 3 / 切
サイズ	2048 × 1536 / 1600 × 1200 / 1280 × 960 / 640 × 480
画質	高精細 / 標準 / エコ / ミニ
EVシフト	-2.0 / -1.7 / -1.3 / -1.0 / -0.7 / -0.3 / 0.0 / +0.3 / +0.7 / +1.0 / +1.3 / +1.7 / +2.0
ホワイトバランス	オート / 太陽光 / 日陰 / 電球 / 蛍光灯 / マニュアル
ISO 感度	オート / ISO 50 / ISO 100 / ISO 200
デジタルズーム	入 / 切
撮影レビュー	入 / 切
左右キー設定	撮影モード / EVシフト / ホワイトバランス / ISO感度 / セルフタイマー / 切

117

## 付録

### ●設定タブメニュー

操作音	入 / 切
起動画面	入 (画像選択) / 切
ファイルNo.	メモリする / メモリしない
ワールドタイム	自宅 / 訪問先 ホームタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど) ワールドタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
日付表示スタイル	年/月/日 / 日/月/年 / 月/日/年
日時設定	日付と時刻の設定
Language	日本語 / English / Français / Deutsch / Español / Italiano / Português / 中国語 / 中国語 / 한국어
スリープ	30秒 / 1分 / 2分 / 切
オートパワーオフ	2分 / 5分
フォーマット	フォーマット / キャンセル
リセット	リセット / キャンセル

118

## PLAYモード

### ●再生設定タブメニュー

スライドショー	開始 / 表示画像 / 時間 / 間隔
カレンダー表示	—
お気に入り	表示 / 登録 / 消去 / キャンセル
DPOF	選択画像 / 全画像 / キャンセル
プロテクト	オン / 全ファイル / オン / キャンセル
回転表示	回転 / キャンセル
リサイズ	1280 × 960 / 640 × 480 / キャンセル
トリミング	—
アラーム	アラームの詳細設定
コピー	内蔵 → カード / カード → 内蔵 / キャンセル

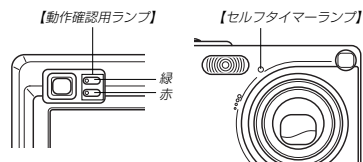
## 付録

### ●設定タブメニュー

操作音	入 / 切
起動画面	入 (画像選択) / 切
ファイルNo.	メモリする / メモリしない
ワールドタイム	自宅 / 訪問先 ホームタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど) ワールドタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
日付表示スタイル	年/月/日 / 日/月/年 / 月/日/年
日時設定	日付と時刻の設定
Language	日本語 / English / Français / Deutsch / Español / Italiano / Português / 中国語 / 中国語 / 한국어
スリープ	30秒 / 1分 / 2分 / 切
オートパワーオフ	2分 / 5分
フォーマット	フォーマット / キャンセル
リセット	リセット / キャンセル

### ランプの状態と動作内容

カメラ本体には緑と赤の【動作確認用ランプ】と、【セルフタイマーランプ】の3つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



※ランプの点滅間隔は3種類あります。点滅1では1秒間に1回、点滅2では1秒間に2回、点滅3では1秒間に4回点滅します。

119

## 付録

### RECモード

動作確認用ランプ	セルフタイマーランプ		内容
	緑	赤	
点灯		赤	起動中(電源オン時、撮影可)
	点滅3		フラッシュ充電中
	点灯		フラッシュ充電完了
点灯			オートフォーカス合焦
点滅3			オートフォーカス合焦不可
点灯			LCDオフ
点滅2			撮影記録中
点滅1			ムービー取り込み中
		点滅1	セルフタイマーカウントダウン 10~3秒前
		点滅2	セルフタイマーカウントダウン 3~0秒前
	点滅1		フラッシュ充電不可
	点滅2		メモリーカード異常 / メモリーカード未フォーマット / カスタム登録不可
	点灯		メモリーカードロック / フォルダ作成不可 / メモリーフル / 書き込みエラー
	点滅3		電池交換警告
点滅3			フォーマット中
点滅3			終了中(電源オフ時)

120

**重要!** • カメラにメモリーカードを入れているときは、緑の【動作確認用ランプ】が点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対にお止めください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

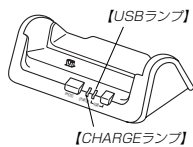
## PLAYモード

動作確認用ランプ	セルフタイマーランプ		内容
	緑	赤	
点灯		赤	起動中(電源オン時、撮影可)
点滅3			消去実行中 / DPOF実行中 / プロテクト実行中 / コピー実行中 / アルバム作成中 / フォーマット中 / 終了中 (電源オフ時)
	点滅2		メモリーカード異常 / メモリーカード未フォーマット
	点灯		メモリーカードロック / フォルダ作成不可 / メモリーフル
	点滅3		電池交換警告



## USBクレードルのランプ

USBクレードルには【CHARGEランプ】【USBランプ】の2つのランプがあります。これらのランプは、USBクレードルの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



CHARGEランプ		USBランプ		内容
色	状態	色	状態	
赤	点灯			充電中
緑	点灯			充電終了
オレンジ	点灯			充電待機中
赤	点滅			充電エラー
		緑	点灯	USB接続状態
		緑	点滅	メモリアクセス中

## 故障かな？と思ったら

## 現象と対処方法

	現象	考えられる原因	対処
電源について	電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。	1) 電池を正しい向きに入れてください(→21ページ)。 2) 電池を充電してください(→23ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売のリチウムイオン充電電池(NP-20)をお買い求めください。
	電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた(→29ページ)。 2) 電池が消耗している。	1) 再度電源を入れ直してください。 2) 電池を充電してください(→23ページ)。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない。	1) 【モードスイッチ】が“PLAY”になっている。 2) 【フラッシュ】充電中である。 3) “メモリーがいっぱいです”と表示されている。	1) 【モードスイッチ】を“REC”に合わせてください。 2) 【フラッシュ】の充電が終わるまで待ってください。 3) パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
	オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) 【レンズ】が汚れている。 2) 被写体が【フォーカスフレーム】の中央にない。  3) ピントの合いにくい被写体である(→36ページ)。 4) 手ぶれている。	1) 【レンズ】をきれいにする。 2) 被写体を【フォーカスフレーム】の中央に合わせる。 3) マニュアルフォーカスモードに切り替えて手動でピントを合わせる(→45ページ)。 4) 三脚を使用してください。

	現象	考えられる原因	対処
撮影について	撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない。	ピントを合わせたい被写体に【フォーカスフレーム】を合わせて撮影してください。
	セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している。	電池を充電してください(→23ページ)。
	【液晶モニター】に表示される画像のピントがあまい。	1) マニュアルフォーカスモードでピントが合わせがずれている。 2) 被写体が風景や人物なのに、マクロモードになっている。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや“∞”(無限遠モード)になっている。	1) ピントを合わせる(→45ページ)。 2) 風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにする。 3) 接写撮影をする場合はマクロモードにする。
	撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた。	1) バッテリー残量表示が  になったら、速やかに電池を充電してください(→23ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
再生について	再生した画像の色が撮影時に【液晶モニター】で見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
	画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。

	現象	考えられる原因	対処
その他	すべてのボタンやスイッチが動かない。	他の周辺機器との接続中に静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池をいったん取り出し、入れ直してから再度操作してみてください。
	【液晶モニター】がつかない。	1) USB通信中である。  2) 撮影モードで【液晶モニター】をオフにしている。	1) メモリーカードにパソコンからのアクセスがないことを確認し、USBクレードルの【USB】ボタンを押して【USB】ランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずしてください。 2) 【DISP】を押して【液晶モニター】をオンにしてください。
	パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) カメラがUSBクレードルに確実にセットされていない。 2) USBケーブルが確実に接続されていない。 3) USBドライバがインストールされていない。 4) カメラの電源が入っていない。	1) カメラとUSBクレードルの接合部を確認して、確実にセットしてください。 2) コネクター端子部を確認して、確実に接続してください。 3) USBドライバをインストールしてください(→93ページ)。 4) USBクレードルの【USB】ボタンを押してください。

## 画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のとき表示されます。撮影し直してください。
カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが出るときは、フォーマットしてください(91ページ)。 <b>重要!</b> ・フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前に、パソコン等を利用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(91ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。
この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(92ページ)。

このファイルではこの機能は使用できません	各種機能を実行しようとしたときに、実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードでシーンフォルダの中に999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合表示されます。
設定したファイルが見つかりません	スライドショーの「表示画面」で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(68ページ)。
電池容量がなくなりました	電池がなくなったときに表示されます。
ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つも無い状態です。

125

フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9,999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を行いたい場合は、不要なファイルを消去する操作を行う必要があります(72ページ)。
プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(76ページ)。
プリントエラー	プリント中のエラー時に表示されます。 ● プリント電源オフ ● 用紙未セット ● インク切れ ● プリント本体のエラーなど
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行いたい場合は、不要なファイルを消去する操作を行う必要があります(72ページ)。
LENS ERROR	レンズが動いているときにレンズに障害物が当たると、このメッセージが表示され、電源が切れます。障害物がないことを確認して、再度電源を入れてください。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

126

## 主な仕様/別売品

## 主な仕様

品名 ..... デジタルカメラ  
機種名 ..... EX-Z3

## ■カメラ機能

## 記録画像ファイル

フォーマット ..... 静止画：JPEG(Exif Ver.2.2)、DCF (Design rule for Camera File system) 1.0準拠、DPOF対応  
動画：AVI (Motion JPEG)

記録媒体 ..... 内蔵フラッシュメモリー 1OMB  
SDメモリーカード (SD Memory Card)  
マルチメディアカード (MultiMediaCard)

記録画素数 ..... 静止画：2048 × 1536 pixels  
1600 × 1200 pixels  
1280 × 960 pixels  
640 × 480 pixels

## 画像記録枚数/ファイルサイズ(可変長)

## ● 静止画

画像サイズ (pixels)	画像	画像ファイルサイズ	内蔵フラッシュメモリー 10MB	SDメモリーカード* 64MB
2048×1536	高精細	約1.6MB	約5枚	約34枚
	標準	約1.2MB	約7枚	約45枚
	エコノミー	約630KB	約14枚	約88枚
1600×1200 (UXGA)	高精細	約1050KB	約8枚	約53枚
	標準	約710KB	約12枚	約79枚
	エコノミー	約370KB	約24枚	約154枚
1280×960 (SXGA)	高精細	約680KB	約13枚	約82枚
	標準	約460KB	約20枚	約126枚
	エコノミー	約250KB	約35枚	約221枚
640×480 (VGA)	高精細	約190KB	約46枚	約294枚
	標準	約140KB	約61枚	約386枚
	エコノミー	約90KB	約98枚	約618枚

## ● 動画(320×240pixels)

記録容量	最大約130KB/秒
撮影時間	一度に撮影可能な最長時間：30秒 撮影可能なトータル時間： 最長約1分20秒(内蔵メモリーの場合) 最長約8分20秒(SDメモリーカード*64MBの場合)

\* 記録枚数は、撮影できる枚数の目安です。

\* 松下電産産業(株)製の場合があります。撮影枚数はメーカーによって異なります。

\* 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

消去 ..... 1ファイル単位、全ファイル一括消去可能  
(メモリープロテクト機能付き)

有効画素数 ..... 320万画素

撮像素子 ..... 1/2.5型正方形画素原色CCD  
(総画素数：334万画素)

レンズ/焦点距離 ..... F 2.6-4.8/f=5.8~17.4mm  
(35mmフィルム換算35~105mm相当)

ズーム ..... 光学ズーム3倍/デジタルズーム4倍  
(光学ズーム併用12倍)

焦点調節 ..... コントラスト方式オートフォーカス、マクロモード、無限遠モード、フォーカスロック可能、マニュアルフォーカス可能

撮影可能距離 (レンズ表面より) ..... 標準：約40cm~∞

接写 ..... 6cm~50cm  
(光学ズームは1~1.8倍の範囲で使用できません。)

露出制御 ..... 測光方式：撮像素子によるマルチパターン測光  
制御方式：プログラムAE  
露出補正：-2EV~+2EV(1/3EV単位)

シャッター ..... CCD電子シャッター/メカシャッター併用  
1~1/2000秒(撮影のモードやISO感度設定で変化します。)

絞り ..... F2.6/4.3自動切替式

ホワイトバランス ..... 自動/固定(4モード)/マニュアル

セルフタイマー ..... 作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー

127

内蔵フラッシュ ..... 発光モード：自動発光、発光禁止、強制発光、赤目軽減機能切替可能

フラッシュ撮影範囲(ISO感度オート時)：  
広角時 約0.4m~約2.3m  
望遠時 約0.4m~約1.5m

撮影関連機能 ..... 通常モード、ベストショットモード、ムービーモード

モニター ..... 2.0型TFTカラー液晶  
84,960(354×240)画素

ファインダー ..... 液晶モニター/光学式ファインダー

時計機能 ..... クォーツデジタル時計内蔵  
日付・時刻：画像データと同時に記録  
自動カレンダー：2049年まで

ワールドタイム ..... 世界162都市(32タイムゾーン)に対応  
都市名、日付、時刻、サマータイム

入出力端子 ..... クレドール接続端子

マイク ..... モノラル

## ■電源部、その他

電源 ..... リチウムイオン充電電池(NP-20)×1個

電池寿命：

連続撮影枚数(撮影時間)*1	約450枚(約1時間15分)
標準撮影枚数(撮影時間)**	約140枚(約1時間10分)
連続再生時間(静止画)**	約2時間00分

電池寿命は、温度23°Cで使用した場合(25ページ)の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

128

## ■リチウムイオン充電電池(NP-20)

定格電圧 ..... 3.7V  
定格容量 ..... 680mAh  
使用周囲温度 ..... 0~40°C  
外形寸法 ..... 幅33×高さ50×奥行4.7mm  
質量 ..... 約16g

## ■USBクレードル(CA-21A)

入出力端子	カメラ接続端子、USB接続端子、外部電源端子(DC IN 5.3V)
消費電力	DC5.3V 約3.4W
サイズ	幅106mm×高さ42mm×奥行き59.5mm (突起部除く)
質量	約63g

## ■専用ACアダプター(AD-C51J)

入力電源	AC100-240V 50/60Hz 83mA
出力電源	DC5.3V 650mA
プラグ形状	Aタイプ(平2ピン)
サイズ	幅48mm×高さ16mm×奥行き69mm (突起部、ケーブル除く)
質量	約95g

## 電源について

- 電池は、必ず専用リチウムイオン充電電池NP-20をお使いください。他の電池は使用できません。
- 本機には時計専用の電池は入っておりません。電池やUSBクレードルで電源が供給されていないと、約2日で日時がリセットされますので、その場合は再度設定してください(31ページ)。

## 液晶パネルについて

- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%未満の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

## レンズの特性について

- レンズの特性(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

## 別売品

● モバイルチャージャー	BC-10L
● リチウムイオン充電電池	NP-20
● ソフトケース	ESC-40
● ソフトケース	ESC-41
● ソフトケース	ESC-42
● ソフトケース	ESC-43
● ネットストラップ	ENS-1
● USBクレードル/ACアダプター*	CA-21

\*本製品はUSBクレードル、専用ACアダプター、USBケーブルのセットです。自宅や職場用など数台必要な場合に、お買い求めください。  
また、カメラに付属されているUSBクレードル(CA-21A)/ACアダプター(AD-C51J)と別売品のUSBクレードル(CA-21)/ACアダプター(AD-C50J)は一部仕様が異なりますが、カメラの使用において同様に使用できるものです。

別売品は、お買い求めの販売店もしくは、カシオ・オンラインショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。

e-カシオ： <http://www.e-casio.co.jp/>

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオホームページでもご覧になることができます。

<http://www.casio.co.jp/>

## 索引

## 英数字

ACアダプター	23
Acrobat Reader	112
CHARGEランプ	24, 121
DCF規格	103
DirectX	112
DPOF機能	76
EVシフト	47
Exif Print	79
ISO感度	59
Internet Explorer	112
MMC	89
Photo Loader	111
Photohands	111
PLAYモード	62
PRINT Image Matching II	78
RECモード	34
SDメモリーカード	89
USBクレードル	17, 23, 71, 93
USB DIRECT - PRINT	79
USB端子	79, 93
USBドライバ	93
USBランプ	121

## あ

赤目軽減	40
アラーム機能	84
アルバム機能	105
印刷	76, 79
インストール	93, 111
液晶モニター	18
お気に入りフォルダのコピー(登録)	81
お気に入りフォルダの表示	82
お気に入りフォルダの消去	82
オートパワーオフ	29
オートフォーカス	34, 36, 43

## か

回転表示	71
拡大表示	64
画質の変更	42
画像サイズ	42
カスタム登録	51
カップリングショット	53
カレンダー表示	68
キーカスタマイズ	60
起動画面	84
光学ズーム	37

## さ

再生	62
撮影	34
撮影レビュー	59
サマータイム	87
シャッター	34
充電式電池	21, 23
消去	72
消去防止(メモリープロテクト)	75
ズーム	37
ストラップ	21
スライドショー	68
スリープ	29
セルフタイマー	41
セルフタイマーランプ	41, 119
操作音	83

## た

デジタルズーム	38
電源	21
電源の入/切	28
電池寿命	25
電池消費防止	29

動画再生	66
動画撮影	56
動作確認用ランプ	20, 119
トリミング	65

## な

内蔵メモリー(フラッシュメモリー)	34, 88
内蔵メモリーのフォーマット	88
日時設定	31, 85
日時表示スタイル	86

## は

バッテリー残量	26
パソコンとの接続	93
反転表示	63
日付の表示スタイル	86
ヒストグラム	57
表示言語設定	31, 88
表示のオン/オフ	20
ファイル	74, 92, 93, 103, 105
ファイルNo.	83
ファイルのコピー	92
ファインダー	37
フォーカスロック	46
フォトスタンド機能	71

## わ

ワールドタイム	86
---------	----

## ま

マクロ	44
マニュアルフォーカス	45
無限遠	45
ムービー	56, 66
メニュー	30, 117
メモリーカード	89, 102
メモリーカードのフォーマット	91
メモリープロテクト	75
モードメモリ	60

## ら

リサイズ	64
リチウムイオン充電電池	21
レンズ	11
露出補正	47

## ExilimオフィシャルWebサイトのお知らせ

当サイトは、Exilimのオフィシャル情報発信サイトです。

<http://www.exilim.jp/>

## ■ユーザー登録の仕方

ユーザー登録はExilimサイト(<http://www.exilim.jp/>)の【Registration】からご利用のデジタルカメラを選択して登録を行ってください。

## ご登録いただいた方への特典

## Download

最新ファームウェア・バージョンアップ・ソフトウェアがダウンロードできます。

## Exilim News

会員向け情報メールにより【[www.exilim.jp/](http://www.exilim.jp/)】の最新情報、製品関連の最新情報、特典情報等を配信します。

## Exilim Collection

登録された会員様だけにExilim起動画面ファイルなどを配信します。

## Exilim BBS

開発フォーラムで「製品開発」に関する意見を交換することができます。

## 一般公開のサービス内容

## Exilim Avenue

Faces	Sense
こだわりとスタイルを持った人々がExilimの魅力を語ります。	Exilimを格好良く身に付けるポイントをレポートします。
Story	Wallpaper
Exilim開発スタッフが語る秘話を紹介します。	パソコン用壁紙がダウンロード可能です。
Edge of the World	Collection
ニューヨーク、ロンドン、上海など国際都市からExilimを通してレポートします。	TVCMのMP3ファイル等を公開します。

## その他のExilim関連WEB情報

Exilim Info	Exilim Support
製品情報/サンプル画像	各種FAQや動作確認情報

\* Exilim.jpのサービス内容は会員の意見・要望や公開アンケートの結果により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。